Creative Enzymes®

ヒト組織由来トランスグルタミナーゼ2、組換え

Cat. No. NATE-1728

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	この酵素は転移酵素のファミリーに属し、特にリンを含む基を転送する酵素（リン酸転移酵素）であり、受容体としてリン酸基を持っています。
用途	トランスグルタミナーゼ2は、タンパク質やペプチド中のグルタミン残基から一次アミンへのアシル転移反□を触媒し、例えば、ペプチド結合グルタミン残基のアシル基をペプチド結合リジン残基の一次アミノ基に転送することによって、タンパク質間のε-(γ-グルタミル)リジン結合を形成します。トランスグルタミナーゼ2は、免疫沈降にも使用される可能性があります。
別名	トランスグルタミナーゼ; EC 2.3.2.13; 80146-85-6; トランスグルタミナーゼ; ファクター XIIIa; フィブリノリガーゼ; フィブリン安定化因子; グルタミニルペプチド γ-グルタミルトランスフェラーゼ; ポリアミン・トランスグルタミナーゼ; 組織トランスグルタミナーゼ; R-グルタミニルペプチド: アミン γ-グルタミルトランスフェラーゼ; タンパク質-グルタミン γ-グルタミルトランスフェラーゼ; TG1

製品情報

種	人間
由来	昆虫細胞
外□	白色の凍結乾燥固体。
形態	トランスグルタミナーゼは、10 mM Tris-HCl pH 8.1、150 mM NaCl、1 mM EDTA、5 mM DTTから凍結乾燥されています。サンプルにはマルトデキストリンが含まれています。
EC番号	EC 2.3.2.13
CAS登□番号	80146-85-6
分子量	78 kDa
純度	> 90 %（SDS-PAGEによる視□的）
活性	> 1500 U/mg [活性は、Lorand et al.によるN,N-ジメチル化カゼインへのトランスグルタミナーゼ触媒によるモノダンシルカダベリンの取り込み後の蛍光□強速度を測定することによって決定されます。Anal. Biochem. 44 (221-231)。]
活性化因子	10 mMのCa2+を加えてトランスグルタミナーゼを活性化します。
単位定義	1 Uは、1 a.u./minの蛍光強度の□加として定義されます（Cary eclipse 蛍光分光光度計、Varianで測定; λex = 332 nm, λem = 500 nm; バンドフィルター = 5 nm; □出器強度 = 600 V; 温度 = 37°C, アッセイ体積 = 1 ml）。

使用法とパッケージング

包装	250 µg; 1mg
再構成	分析証明書に記載された分注の水の量を、凍結乾燥粉末のバイアルに加えます。固体が溶解するまでバイアルを優しく回転させます。再構成後、溶液は作業用分注で冷凍保存する必要があります。

保管・発送情報

保存方法	作業用アリコットは、< -20°Cで保管してください。繰り返しの凍結と解凍を避けてください。常

保存方法	作業用アリコットは ≦ 20 °C で保管してください。繰り返しの凍結と解凍を避けてください。常温での配送が可能です。